

山形県の古木・名木 No.6

神代カヤ (じんだいかや)

西村山郡大江町小鉾字久保630-1

大江町小鉾にあり、5本株立ちとなっており、根元の幹回りが9m、幹回りの最大のものは3.5m、高さは約19mある。

「枯木といえども刃物を入れるな」と伝説がある。

樹齢は約1500年と推定され、カヤの木としては東北一といわれている。

昭和27年に山形県天然記念物に指定されている。

(山形県林業改良普及協会)

(案内略図)



H23.8.10撮影

雪害で枝裂傷



【森林やまがた 30号(1999年 9月)記載】

神代カヤ
樹高は約十九米、根幹周囲は九米、枝葉東西二十四米、南北一十六米におよび根元は、五本の株立ちとなっている。
近頃は、雪害で、樹幹の節で、あつた大枝、根幹が八米ほどのカヤの積雪が相連れて、幹を折るをしたといふ伝説があり、枯木といえども刃物を入れるなといわれている。
樹幹は、はつきりしないが、約千五百年をむらりカヤの木として、東北といわれている。
昭和二十七年四月一日山形県指定天然記念物となる。
大町教育委員会